

2026年1月30日 第3回川崎臨海部フォーラム

「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想」
が描く2050年の将来像

川崎市臨海部について



本日の御説明内容

1. 川崎市及び川崎臨海部の概況とポテンシャル

2. 川崎カーボンニュートラルコンビナート構想

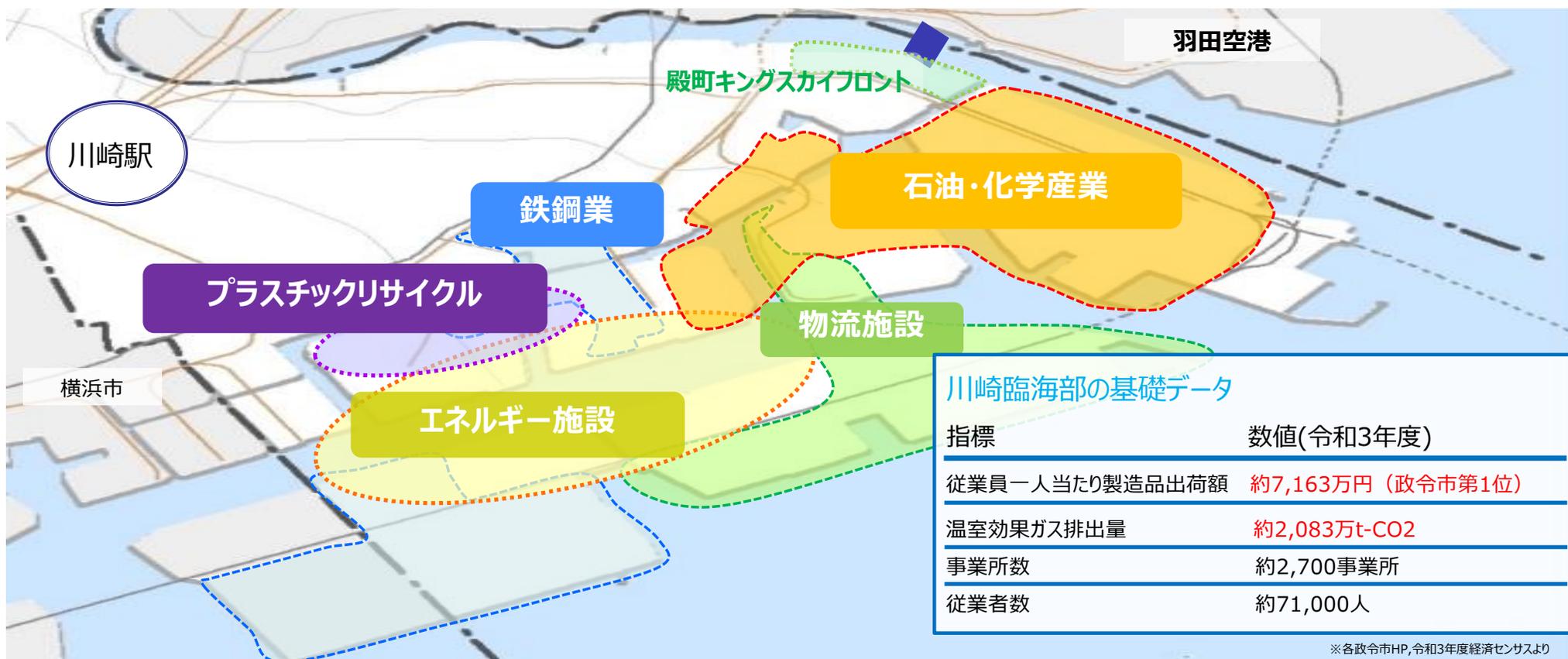
3. 構想実現に向けた具体的取組

(1) 水素戦略

(2) 炭素循環戦略

川崎臨海部の概要

- 石油精製・化学等の工場や、エネルギー、物流等の施設が集積し、**コンビナートを形成**
- 川崎市の**従業員一人当たり製造品出荷額**は政令市の中でトップだが、**温室効果ガス排出量**も多く、大半が臨海部から排出されている



本日の御説明内容

1. 川崎市及び川崎臨海部の概況とポテンシャル

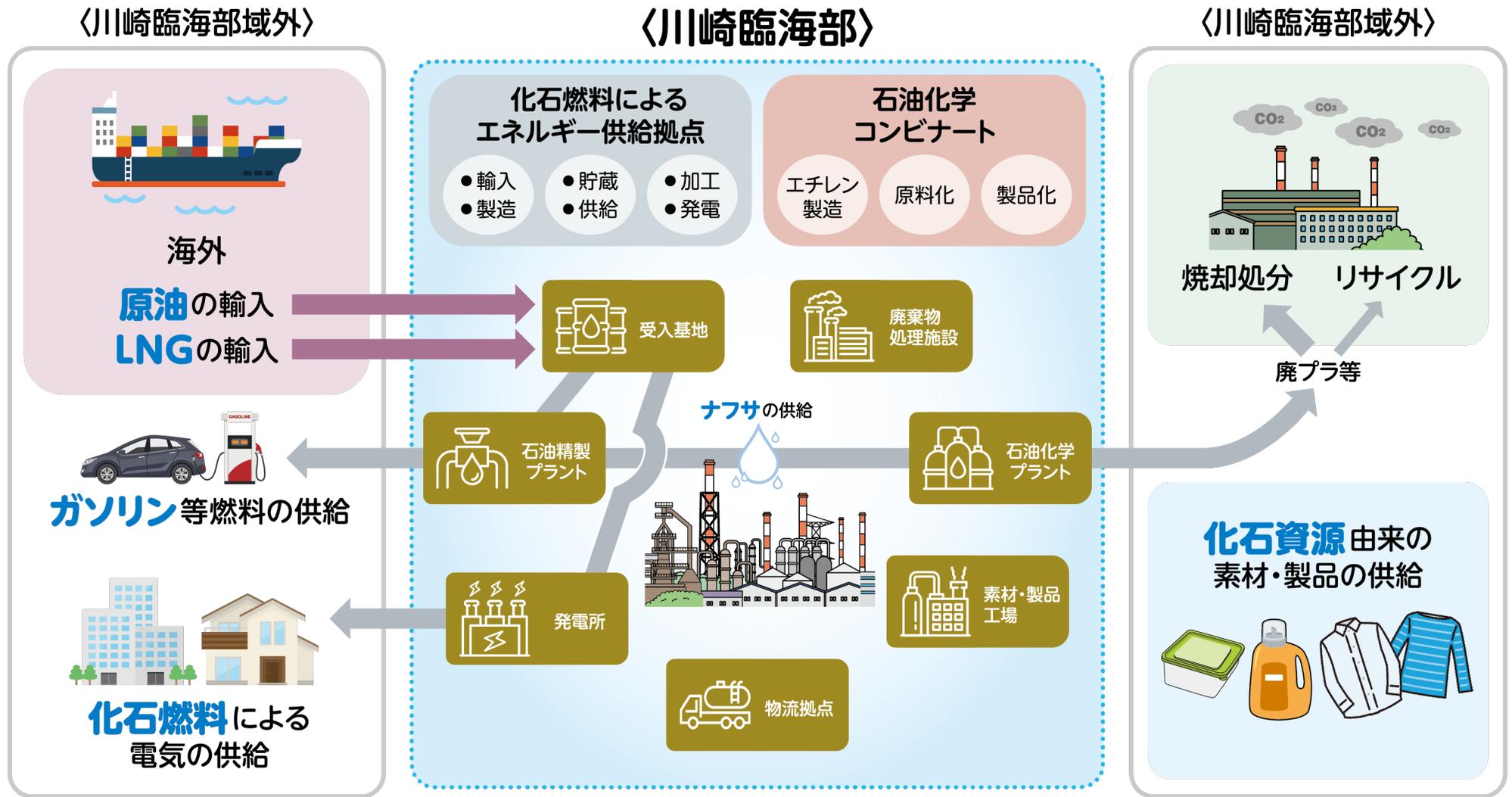
2. 川崎カーボンニュートラルコンビナート構想

3. 構想実現に向けた具体的取組

(1) 水素戦略

(2) 炭素循環戦略

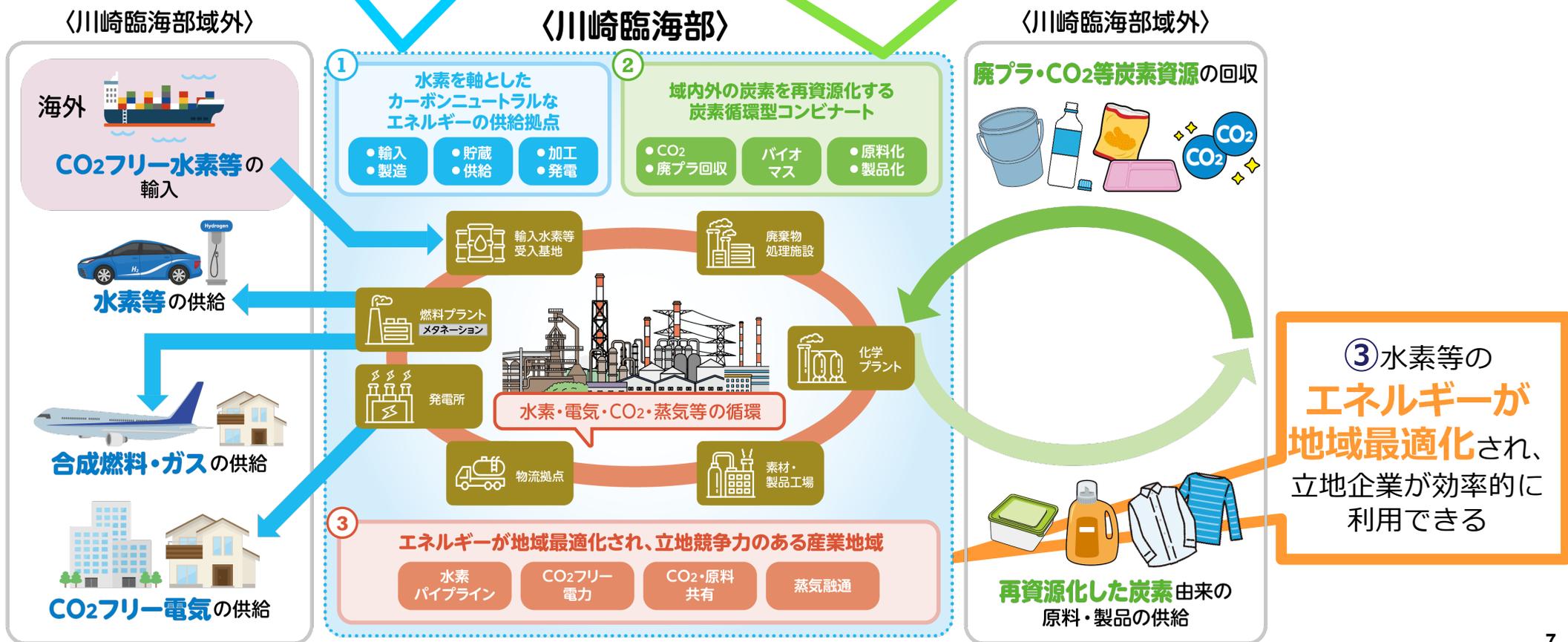
現在の川崎臨海部のイメージ図



2050年の川崎臨海部のコンビナートのイメージ図

①水素由来のエネルギーを外部に供給

②炭素資源（廃プラ・CO2）由来の素材・製品を外部に供給



本日の御説明内容

1. 川崎市及び川崎臨海部の概況とポテンシャル

2. 川崎カーボンニュートラルコンビナート構想

3. 構想実現に向けた具体的取組

(1) 水素戦略

(2) 炭素循環戦略

水素戦略 ー将来的に目指す姿ー

➤ 川崎臨海部を起点に需要と供給双方の拡大という好循環の創出を目指す

水素等の利活用拡大のイメージ



水素戦略 ー液化水素荷役基地の建設ー

- JFEの高炉跡地活用の1つとして扇島に「水素を軸としたカーボンニュートラルの拠点」を整備する計画
- 「液化水素サプライチェーンの商用化実証」に取り組む日本水素エネルギーが、国内基地の建設に着工



国内基地イメージ
(画像出所：2025年5月26日
日本水素エネルギー株式会社プレスリリース)

川崎LH2ターミナル起工の様子
(2025年11月27日)

本日の御説明内容

1. 川崎市及び川崎臨海部の概況とポテンシャル

2. 川崎カーボンニュートラルコンビナート構想

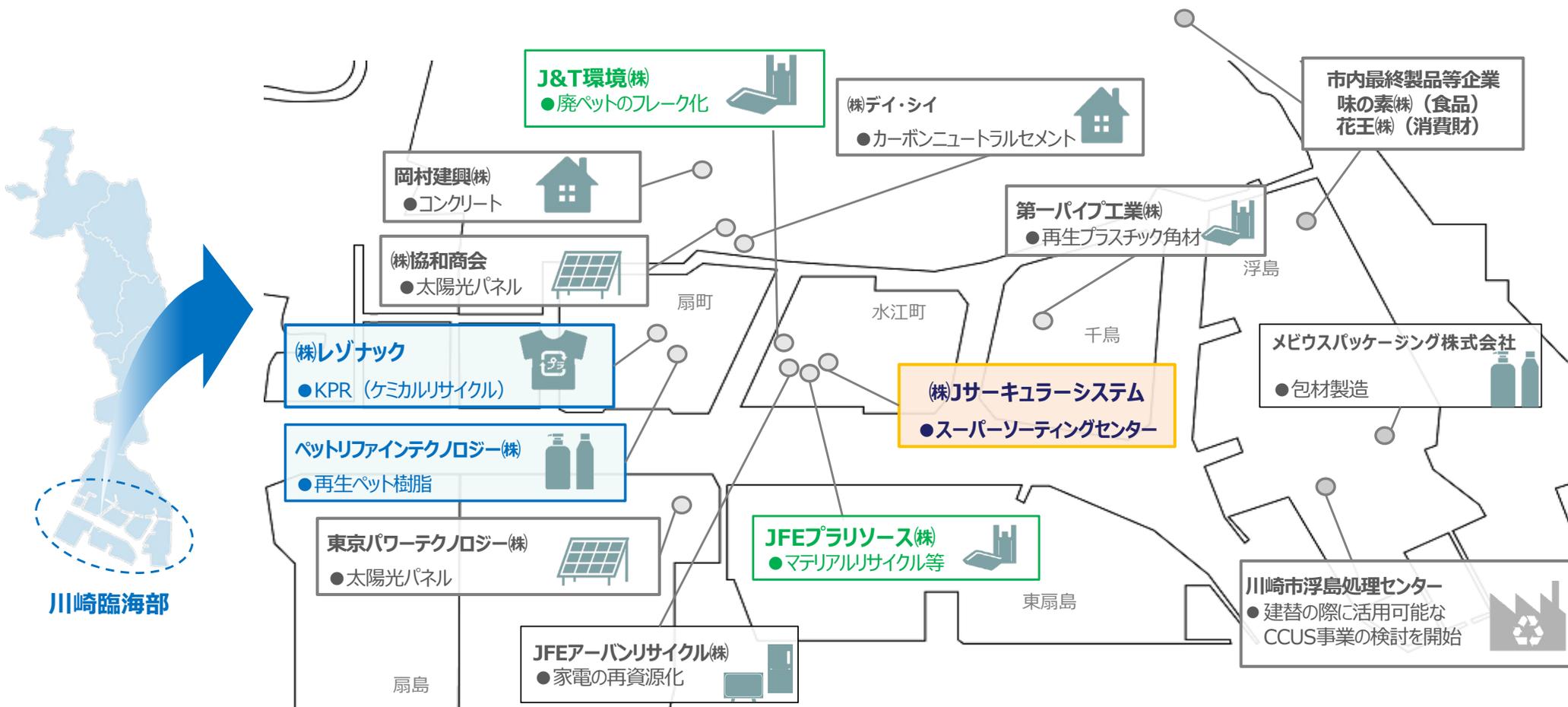
3. 構想実現に向けた具体的取組

(1) 水素戦略

(2) 炭素循環戦略

炭素循環戦略 —川崎臨海部におけるリサイクル機能の集積—

➤ 川崎臨海部には、**資源循環**に取り組む様々な事業者が集積



炭素循環戦略 —川崎市のプラスチックリサイクルのポテンシャル—

➤ 川崎臨海部のプラスチックリサイクル能力は、市内排出量の ペットボトルは約7倍、プラ製容器包装は約14倍

高度選別機能

Jサーキュラーシステム



マテリアルリサイクル

J & T環境



ケミカルリサイクル

RESONAC



JFEプラリソース



ペトリファイン テクノロジー



炭素循環戦略 —かわさきプラスチック循環プロジェクト—

➤ **市民、事業者、行政の連携**による、「100%プラリサイクル」に向けた資源循環の取組

他社製品もリサイクル

プラスチック製収納ケースの
リサイクル実証試験

良品計画

J&T 環境 株式会社
JFE



スポーツチームと連携

資源の回収・リサイクルと
資源循環の体感

KAWASAKI
Frontale



100周年・緑化フェア連携

市民が分別した再生材を
利用したグッズ作製

ペットボトルを プラスチックを
ペットボトルに! サコッシュに!



SUNTORY
RESONAC



同業他社がガッチリ連携

マヨネーズボトルの
リサイクル実証実験

Eat Well, Live Well.
Aj
AJINOMOTO

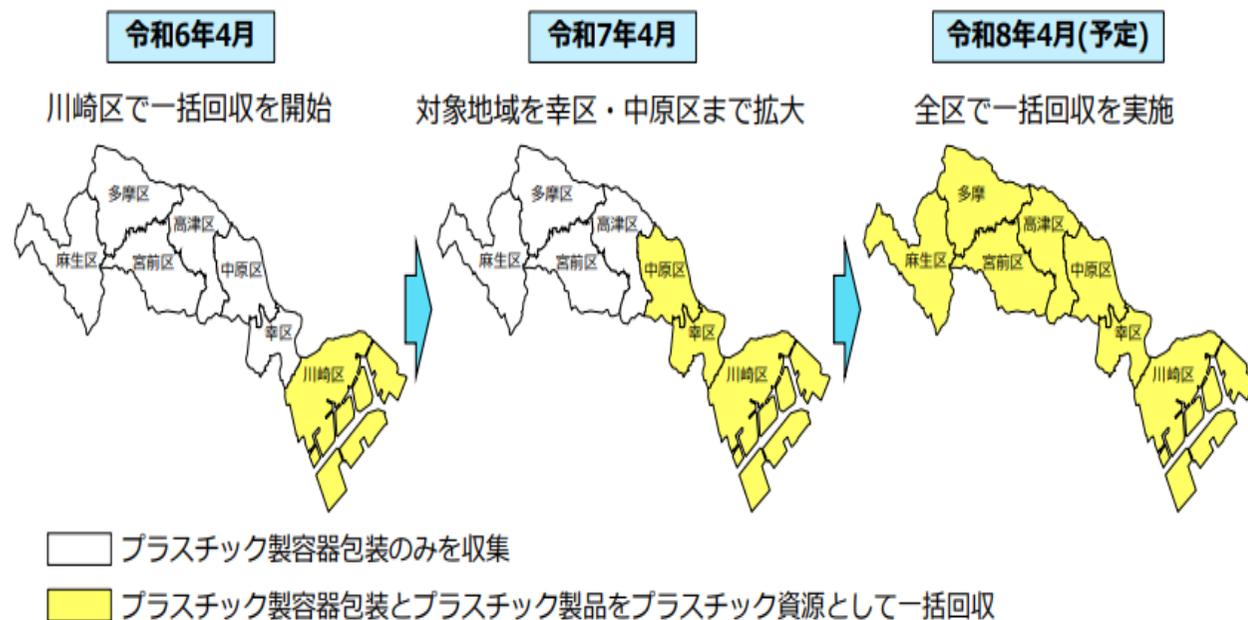


kewpie



炭素循環戦略 –プラスチック資源の一括回収の取組–

- 令和6年4月より、市内一般家庭から排出される**プラスチック資源の一括回収**（同じ袋で収集）を開始
- 段階的に対象地域を拡大し、**令和8年4月には市内全域**で一括回収を実施予定



プラスチック資源

として同じ袋で収集

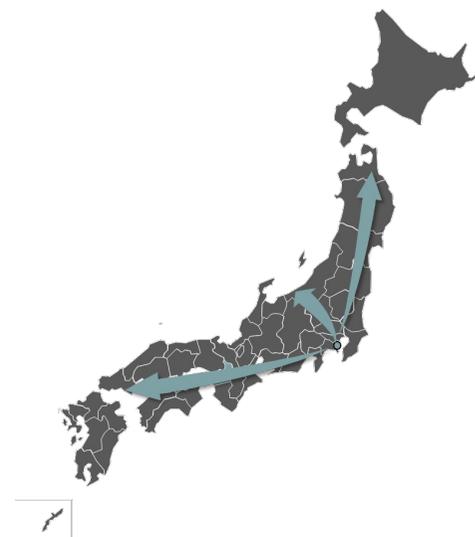
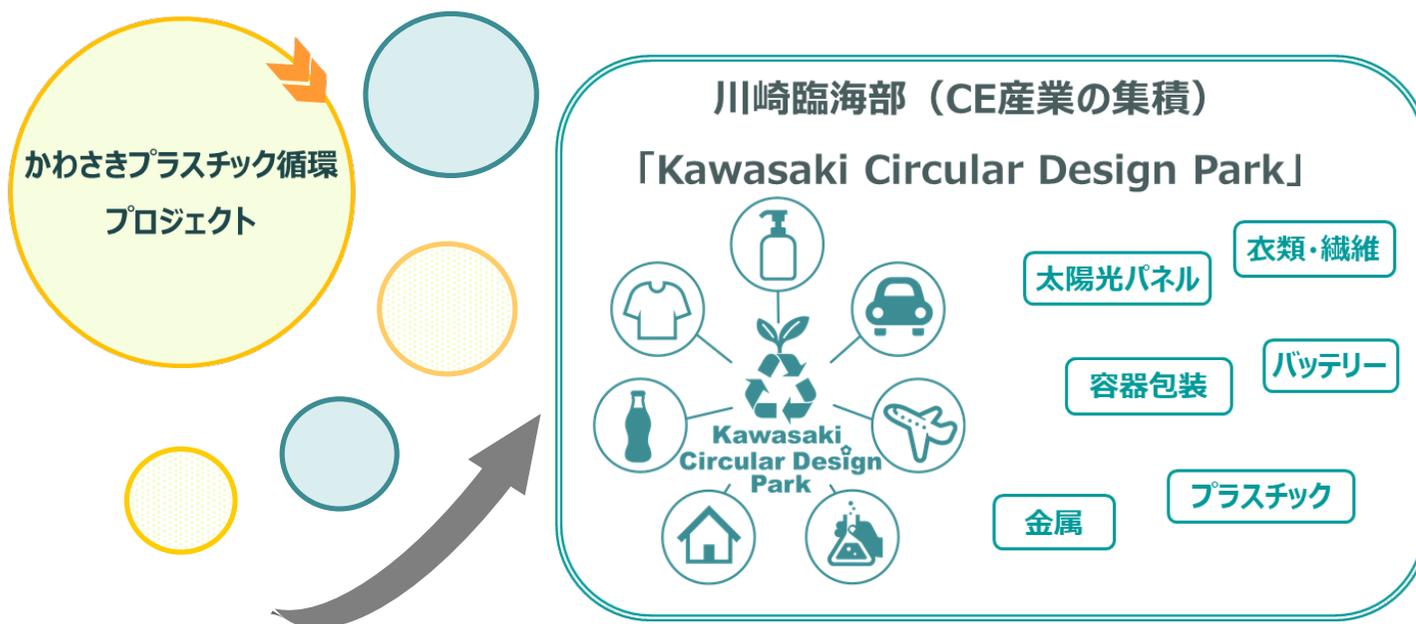
炭素循環戦略 —Kawasaki Circular Design Park—

➤ ものづくりの設計段階から循環型の仕組みづくりに挑戦する企業の取組を支援するプラットフォーム

プロジェクト創出

循環型産業の集積

循環型コンビナートモデルを全国展開



炭素循環戦略 — 廃プラスチックの循環実証 —

➤ 「市の一般家庭から一括回収した廃プラスチックの再生材が、日用品ボトルに利用可能か検討する」取組を進めている

実証メンバー・役割

【回収・全体調整】



川崎市

【選別】



J&T 環境 株式会社



J CIRCULAR SYSTEM

【包材製造】



メビウスパッケージング株式会社

【製品製造】

KaO

きれいをこころに 未来に



クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス
Japan Clean Ocean Material Alliance

市民



再びボトルとして使えるか？